

現代も国境という壁は容易に低くはないでしょうが、情報化が進む今の社会では多くの分野でボーダーレスな状況が生まれ、彼我の文化に対する相互理解も欠かせません。多彩な文化資料を所蔵する当館では、今年度も時代や地域を越えたさまざまな文化を紹介します。展覧会を通して普段馴染みのない文化を知

ることは、柔軟で幅広い思考に繋がるのではないのでしょうか。

顧問 松田真一



## 2022年度 展覧会予定 Exhibition schedule 2022

4.15(金) → 6.6(月)

第89回企画展

### エジプト・カイロの大衆文化 —1959年のタイムカプセル—

本展は、当館において初めて開催する現代のアフリカ地域をテーマにした企画展です。1959年(昭和34)にエジプト・カイロで収集した民族資料を展示し、アラブ社会、またイスラーム圏における大衆文化を紹介します。今から60年ほど前に収集された品々は、あたかもタイムカプセルに封じ込められていたかのように、当時の人々の生活感や息づかいを私たちに伝えてくれます。エキゾチックな中にもノスタルジックな雰囲気が漂うエジプトの生活文化をご覧ください。



ラマダン・ランプ「ファヌース」  
エジプト・1959年

7.13(水) → 9.5(月)

第90回企画展

### 館蔵資料から見る 神仙思想と道教

道教は、神仙思想・伝統的な自然崇拜・老荘思想・黄老思想・五斗米道など、さまざまな信仰がルーツとなっています。本展ではその中から、当館が所蔵する神仙思想関連資料、「不老長生」に関する資料、道教や民間信仰の儀礼に使用する法具、神像や神像図、さらに天理図書館が所蔵する道教の経典などを展示します。これらの実物資料を通して、神仙思想と道教の世界について紹介します。



雷令符(らいれいふ)  
台湾台北市・20世紀中期

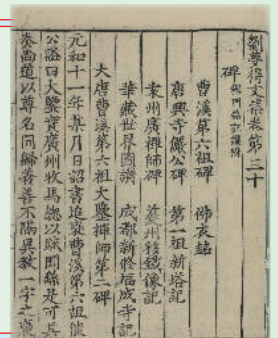
10.25(火) → 11.28(月)

天理図書館 開館92周年記念展

天理大学附属天理図書館 主催

### 中国古典名品展

日中国交正常化50周年の記念の年に、天理図書館が所蔵する中国の古典(漢籍)約10万冊の中から、国宝3点、重要文化財10点を含む選りすぐりの名品40点を展示します。奈良時代の写本から清代の銅版画まで、時代を追って中国古典の歴史を眺めます。中国の古典は、度重なる戦乱などにより、既に中国では亡びて伝存しないものが多くあります。幾多の危機を乗り越え、大切に守り伝えられた貴重な書物の数々を間近でご覧ください。



『劉夢得文集』【国宝】  
宋・紹興年間(12世紀)

2023年

1.18(水) → 3.6(月)

第91回企画展

### 二度見する造形—古代の焼物から—

当館所蔵の古代の焼物から「二度見」したくなるような造形を展示します。現在の私たちが時間的にも空間的にもかけ離れていくにつれて、違和や異質さを感じるようになります。近い地域であっても、改めて見てみると、おもしろいと感じるものも少なからずあります。造形美を楽しんでいただくとともに、その背景にある世界観や情念に思いを馳せていただければ幸甚に存じます。



鹿型注口土器  
イラン・前1000年頃

# 2022年度トーク・サンコーカン(学芸員による講演会)

開催回	期日	タイトル	担当学芸員	申込開始
第293回	4/22(金)	タイムカプセルが伝えるもの —1959年のエジプト・カイロー	梅谷 昭範	4/4(月)
第294回	6/24(金)	日本の鉄道事始め—開業から国鉄誕生まで—	乾 誠二	6/1(水)
第295回	8/8(月)	道教の儀礼用具と神像 —当館所蔵資料を中心に—	中尾 徳仁	7/1(金)
第296回	9/30(金)	天理市域の千塚と首長墳	日野 宏	9/1(木)
第297回	10/28(金)	祈願奉納品とヘルスケア—疫病対策あれこれ—	幡鎌 真理	10/3(月)
第298回	11/24(木)	台湾パイワン族首長家の家宝—銅製人物像柄の短剣—	早坂 文吉	11/4(金)
第299回	<sup>2023年</sup> 1/20(金)	古代の造形美術から見る人間精神—本館所蔵の焼物から—	巽 善信	<sup>2023年</sup> 1/5(木)
第300回	2/23(木・祝)	古代アンデスの土器づくり	荒田 恵	2/1(水)
第301回	3/17(金)	杣之内古墳群の今と昔	藤原 郁代	3/1(水)

## 長月講座「縄文土器を読み解く」

第1講	9/2(金)	縄文土器研究の始まりと土器の起源	松田 真一 (当館顧問)	8/22(月)
第2講	9/9(金)	縄文土器の製作と文様の特徴		
第3講	9/16(金)	縄文土器の型式と系統		

### 上記共通

時間：午後1時30分～2時30分

定員：30名 要事前申込

【申込方法】講演会ごとに、一組3名以内でお申込みください。定員になり次第締切

【申込先】FAX.0743-63-7721 メール [san-info@sta.tenri-u.ac.jp](mailto:san-info@sta.tenri-u.ac.jp) 受付カウンターにて直接申込み のいずれか

【記載事項】〇月〇日講演会「氏名・ふりがな」「住所」「電話番号」

【受付時間】平日の午前9時30分～午後3時 ※申込者全員の記載をして下さい。FAXの方はFAX番号記入のこと。

### テーマごとに学芸員が常設展示の解説を行います!!

★テーマはひと月ごとにお知らせします。

★1回参加につき、マーク1つをスタンプカードに押します。

★参加回数に応じて記念品を贈呈します。カードに有効期限はございません。

【1枚目】1回～34回

- ★奇数回(1.3.5.7.9...回) 入館券1枚 ★2回 クリアファイル2枚
- ★6回 常設展示図録1冊 ★10回 オリジナルトートバッグ1点
- ★14回 お好きな図録1冊、キャラメルマーケットお食事券1,000円分
- ★18・22・26・30回 お好きな図録1冊、オリジナルグッズ
- ★34回 お好きな図録1冊、洋食 Katsui お食事券2,000円分

【2枚目～】35回～

- ★奇数回(1.3.5.7.9...回) 入館券1枚
- ★6・10・14・18・22・26・30回 キャラメルマーケットお食事券200円分
- ★34回 洋食 Katsui お食事券3,000円分

好評開催中!!

★ 天理参考館  
マンデートーク

毎週月曜日

午後1時15分～1時35分

※祝日、年末年始、7/26～8/31を除きます。

開館時間：午前9時30分～午後4時30分(入館は午後4時まで)

入館料：大人500円/団体(20名以上)400円

小・中・高生300円(学校単位の団体無料・要事前申込)

※障がい者とその介護者各1名は無料となります。

障がい者手帳またはミライロID(スマートフォン向け障がい者手帳アプリ)をご提示下さい。

天理参考館  
寄付のご案内

天理参考館では皆様からの寄付をお願いしております。  
詳細は右記QRコードから専用サイトをご覧ください。



世界の生活文化と考古美術の博物館

天理大学附属

天理参考館

TENRI UNIVERSITY SANKOKAN MUSEUM  
〒632-8540 奈良県天理市守目堂町250番地  
TEL 0743-63-8414 FAX 0743-63-7721  
URL <https://www.sankokan.jp/>

天理参考館  
ウェブサイト

